

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当グループの基本理念である『誰もが住み慣れた地域で生き生きと過ごすことが出来るよう総合的に支援します』を実現するためには、誰もが幸せを感じながら生活出来る環境の実現が基本となっており、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、職員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	エネルギー効率の見直し、再生可能エネルギーの利用や供給に向けての取組み	2020年度CO2排出量 269 → 2023年度CO2排出量 264
○環境 ◎社会 ○経済	地域住民の健康増進に向けた活動	リハビリテーション病院という立場から、住民参加型の健康教室を開催し、地域住民の健康増進に役立てて頂くと共に地域との繋がりを構築する。 2021年度開催なし → 2023年度年間参加者 50名以上
○環境 ○社会 ◎経済	年齢を問わない雇用(高齢者雇用割合アップ)	60歳以上雇用割合 2021年 11.3% → 2024年 13.0%

<パートナーシップ>

・肥後銀行の「ひぎんSDGs医療機関債」を通じて地域の小学校に寄付活動を行っている。  
・安心・安全な医療介護のサービス提供者として、患者様やそのご家族、地域住民の方々との間に信頼関係を築くとともに、法人内においても、職員一人ひとりの状況に応じて働きやすい職場環境の整備を実施する。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。